

5 年間発育量の世代間比較

令和元年度調査で17歳に該当する「平成13年度生まれの者」と、30年前の「昭和46年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

(1) 身長 (図9、図10、表7)

身長が最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成13年度生まれの者」が11歳～12歳で8.2cm、親世代は12歳～13歳で7.8cmとなっています。女子では、「平成13年度生まれの者」が10歳～11歳で6.7cm、親世代は9歳～10歳で6.8cmとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成13年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。一方、女子では「平成13年度生まれの者」が親世代より遅い時期となっています。

図9 平成13年度生まれの者と昭和46年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・男子)

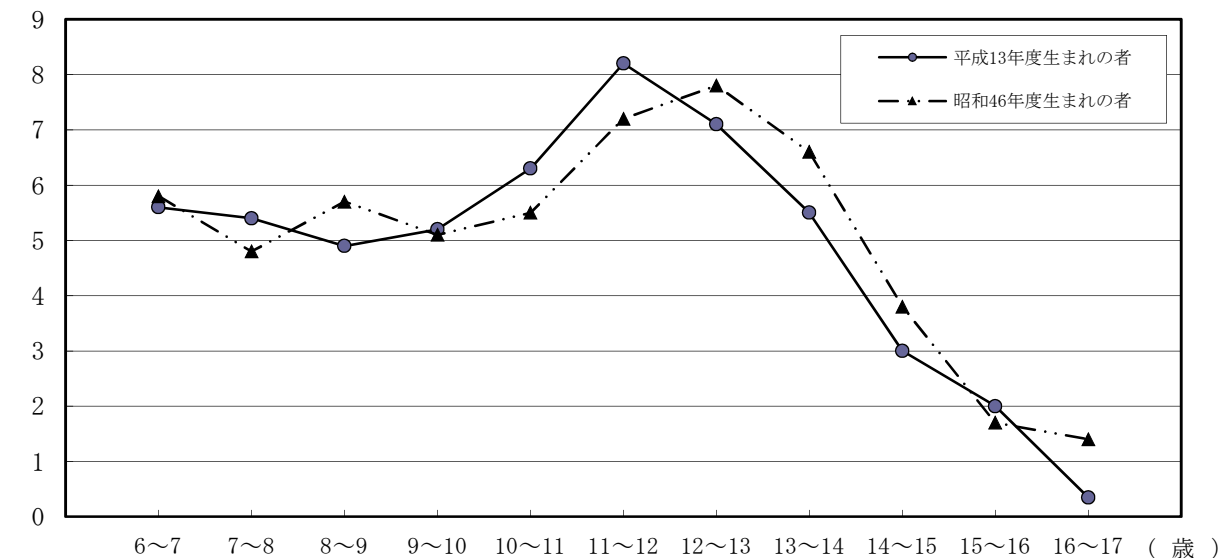
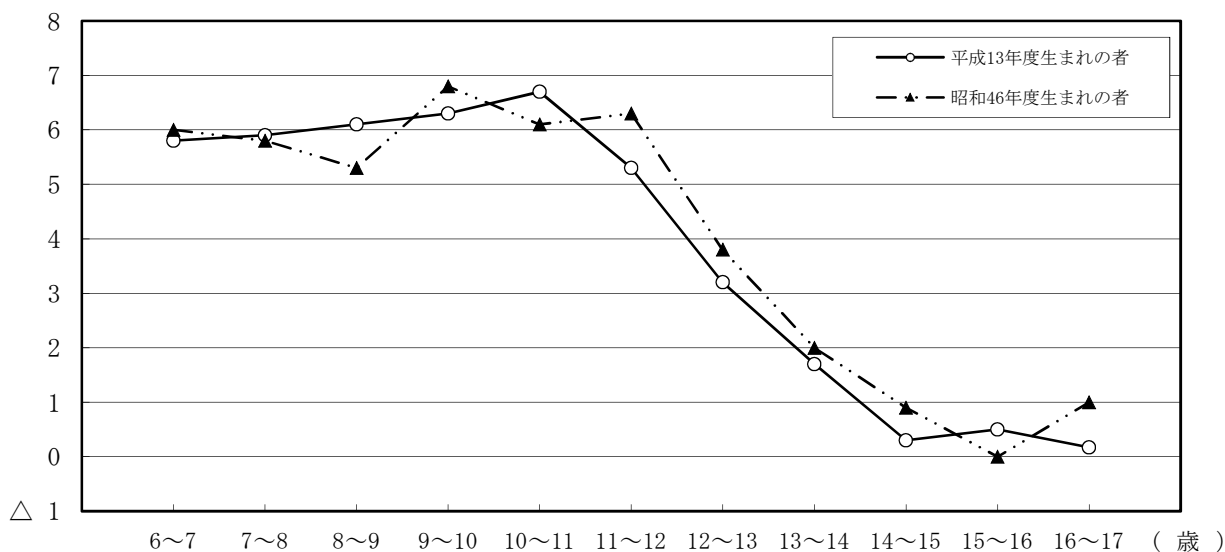


図10 平成13年度生まれの者と昭和46年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・女子)

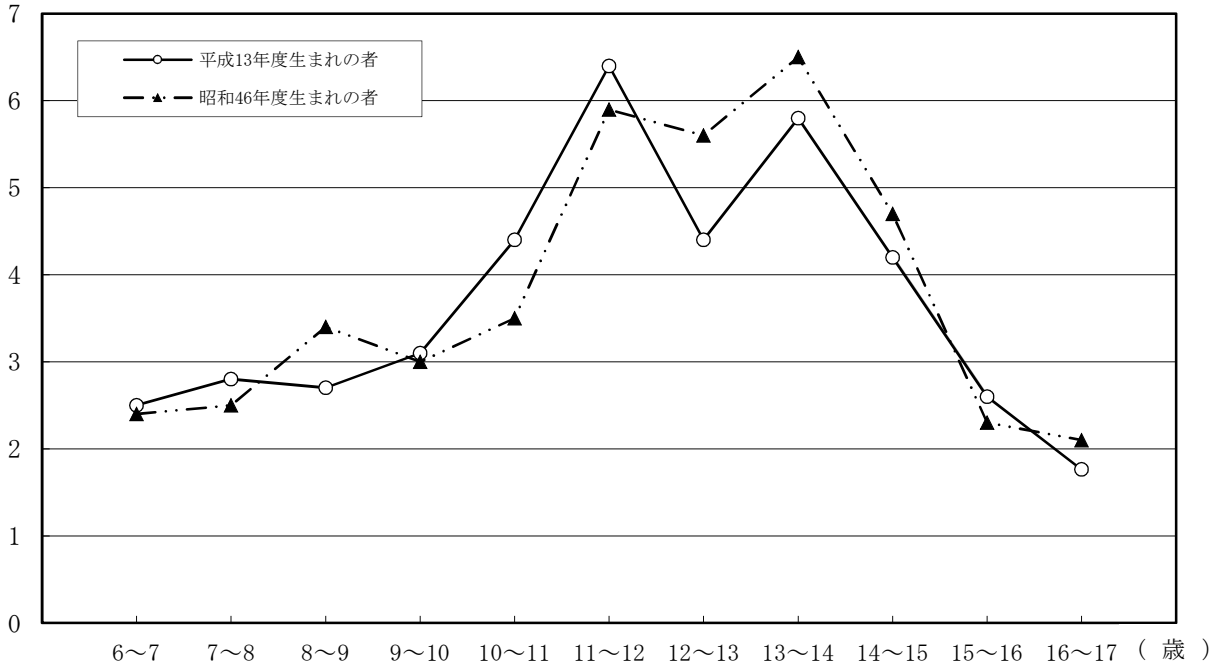


(2) 体重 (図11、図12、表7)

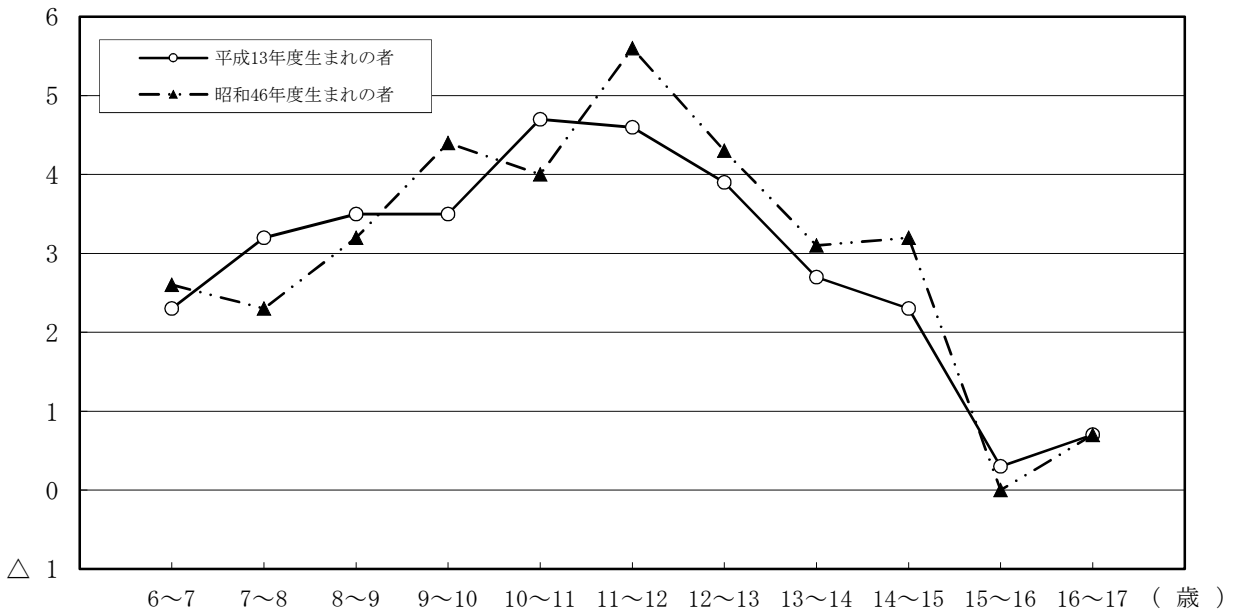
体重が最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成13年度生まれの者」が11歳～12歳で6.4kg、親世代は13歳～14歳で6.5kgとなっています。女子では、「平成13年度生まれの者」が10歳～11歳で4.7kg、親世代は11歳～12歳で5.6kgとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子、女子ともに、「平成13年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。

(kg) 図11 平成13年度生まれの者と昭和46年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・男子)



(kg) 図12 平成13年度生まれの者と昭和46年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較(表7)

身長(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成13年度生まれの者」が親世代よりも男子は1.9cm、女子は2.0cm少なくなっています。

また、体重(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成13年度生まれの者」が親世代よりも男子は1.2kg、女子は1.7kg少なくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、小学校の時期は、男子の身長および体重で「平成13年度生まれの者」の方が親世代よりも多い一方、女子の身長および体重では親世代よりも少なくなっており、中学校・高等学校の時期は、いずれの数値も親世代よりも少なくなっています。

表7 「平成13年度生まれの者」と「昭和46年度生まれの者」(親世代)の年間発育量

区分	歳時	身長(cm)				体重(kg)				
		平成13年度生まれの者		昭和46年度生まれの者		平成13年度生まれの者		昭和46年度生まれの者		
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.6		5.8		2.5		2.4		
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.4		4.8		2.8		2.5		
	8歳(小3)～9歳(小4)	4.9	35.6	5.7	34.1	2.7	21.9	3.4	20.7	
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.2		5.1		3.1		3.0		
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.3		5.5		4.4		3.5		
	11歳(小6)～12歳(中1)	8.2		7.2		6.4		5.9		
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.1		7.8		4.4		5.6		
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.5		6.6		5.8		6.5		
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.0	17.9	3.8	21.3	4.2	18.8	4.7	21.2	
	15歳(高1)～16歳(高2)	2.0		1.7		2.6		2.3		
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.3		1.4		1.8		2.1		
	11年間の総発育量	53.5		55.4		40.7		41.9		
	年間発育量の最も大きい年齢	11歳～12歳		12歳～13歳		11歳～12歳		13歳～14歳		
	女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.8		6.0		2.3		2.6	
		7歳(小2)～8歳(小3)	5.9		5.8		3.2		2.3	
		8歳(小3)～9歳(小4)	6.1	36.1	5.3	36.3	3.5	21.8	3.2	22.1
9歳(小4)～10歳(小5)		6.3		6.8		3.5		4.4		
10歳(小5)～11歳(小6)		6.7		6.1		4.7		4.0		
11歳(小6)～12歳(中1)		5.3		6.3		4.6		5.6		
12歳(中1)～13歳(中2)		3.2		3.8		3.9		4.3		
13歳(中2)～14歳(中3)		1.7		2.0		2.7		3.1		
14歳(中3)～15歳(高1)		0.3	5.9	0.9	7.7	2.3	9.9	3.2	11.3	
15歳(高1)～16歳(高2)		0.5		0.0		0.3		0.0		
16歳(高2)～17歳(高3)		0.2		1.0		0.7		0.7		
11年間の総発育量		42.0		44.0		31.7		33.4		
年間発育量の最も大きい年齢		10歳～11歳		9歳～10歳		10歳～11歳		11歳～12歳		

- (注) ・年間発育量は、たとえば平成13年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成21年度調査の7歳の体格から平成20年度調査の6歳の体格を引いたものです。
- ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 - ・平成13年度生まれの者とは、平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者で、平成20年度調査の6歳、令和元年度調査の17歳です。
 - ・昭和46年度生まれの者とは、昭和46年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた者で、昭和53年度調査の6歳、平成元年度調査の17歳です。